

連絡先等	(住 所) 〒643-0166 和歌山県有田郡有田川町吉原 1360 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 0737-32-4877 FAX : 0737-32-4878 (URL) <a href="http://www.kusube.co.jp/">http://www.kusube.co.jp/</a>
------	---

製品等の名称	<b>間伐材等地域資源を有効利用した自然復元化工法～その普及</b>
製品・取組の概要	大部分が廃棄されている小径間伐材・木質廃材、浄水汚泥などに着目し、『自然復元』をキーワードに主に公共土木工事の建設資材としてリサイクル製品・工法を開発、提案。ネットワークにてノウハウを共有、木材利用工法の普及活動に取り組む。
製品開発・取組のきっかけ	地場産のもの循環、地域経済の発展を目的とし、小径木間伐材や木質廃材を利用するリサイクル製品、工法を開発した。地元森林組合や東洋紡(株)と連携、強度や安定計算、CO2削減効果検証は株式会社日進コンサルタント、県工業試験場、和歌山工業高等専門学校と連携し研究開発を進めた。
製品・取組の内容・特徴	法面に間伐材を階段状に設置し、待ち受け緑化を目的とする緑化基礎工「ウッド筋工」、浄水汚泥・木質廃材等を有効利用する法面吹付「ローカル・リサイクル吹付工法」、駐車場緑化「ターフ・ウッド工法」、間伐材をユニット化することで施工を容易にした強固な木製構造物「間伐材二重井桁枠工」、「和歌山木製ガードレール」等を開発。緑化に関しては単なる早期緑化ではなく、潜在自然植生を重んじ、地域資源を損なうことなく復元する『自然復元』を目指している。
間伐材の利用量	・ 龍神村森林組合、紀中森林組合、有田川木材協同組合、県内他の森林組合より間伐材を供給。 ・ 他に使用が難しい、廃棄されることの多い小径の間伐材を利用。 ・ 木材利用量：間伐材二重井桁枠工（土留工） 0.21 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> （水路工）0.29 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>
取組による効果等	①施工実績：「ウッド筋工」21,421m（小径間伐材φ8～10 L=270mm 約64,000本） 「和歌山ソイル」（ローカル・リサイクル吹付工材料・浄水汚泥、木質廃材使用） 175,094 袋 「吹付助剤A」（ローカル・リサイクル吹付工材料・杉皮使用） 25,512 袋 「間伐材二重井桁枠工」土留工 2箇所 166m 水路工 2箇所 159m 護岸工 1箇所 23 m <sup>2</sup> ・ ウッド筋工、ローカル・リサイクル吹付工は平成14年から施工。 ・ 間伐材二重井桁枠工は平成23年国交省プロテック事業にて開発。 ②「和歌山木材利用連携協議会」「木製構造物研究会」を発足、県内及び県外でのネットワークを構築。間伐材利用工法の取扱い、開発改良等を共有できる仕組みを築いた。 ③ネットワークを通じ行政に働きかけたことで平成29年6月、「和歌山県公共土木工事木材利用マニュアル」が制定され「ウッド筋工」が掲載、県内の木材利用工事推進の一端を担っている。 ④県産品・リサイクル製品展示会、建設技術展等に出展。またNPO法人とも連携し、熊野古道での災害復旧現場見学会を行うなど一般市民に向けた間伐の普及啓発活動も行っている。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ウッド筋工 + ローカル・リサイクル吹付工 (完成～植生状況)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>間伐材二重井桁枠工（土留工・水路工）</p> </div> </div>